



メロディーズ・オブ・メモリーズ *Melodies of Memories*

歌 = 本島阿佐子 ピアノ = 山下洋輔

1. 故郷

作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

兎追いしかの山
小鮎釣りしかの川
夢は今もめぐりて、
忘れがたき故郷

如何に在ます 父母
恙なしや友がき
雨に風につけても
思い出ずる 故郷

志をはたして
いつの日にか 帰らん
山は青き 故郷
水は清き 故郷

2. 揺籃のうた

作詞：北原白秋 作曲：草川信

揺籃のうたのうたを カナリヤが歌うよ
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

揺籃のうえに 枇杷の実が揺れるよ
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

揺籃のつなを 木ねずみが揺するよ
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

揺籃のゆめに 黄色い月がかかるよ
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

3. 月の沙漠

作詞：加藤まさる 作曲：佐々木すぐる

月の沙漠を はるばると
旅の駱駝が 行きました
金と銀との 鞍置いて
二つならんで 行きました

金の鞍には 銀の壘
銀の鞍には 金の壘
二つの壘は それぞれに
紐で結んで ありました

先の鞍には 王子様
あとの鞍には お姫様
乗った二人は おそろいの
白い上着を 着てました

ひろい沙漠を ひとすじに
二人はどこへ いくのでしょうか
臆にけぶる 月の夜を
対の駱駝は とぼとぼと
砂丘を越えて 行きました
黙って越えて 行きました

4. 早春賦

作詞：吉丸一昌 作曲：中田章

春は名のみ 風の寒さや
谷の鶯 歌は思えど
時にあらずと 声もたてず
時にあらずと 声もたてず

氷解け去り 葦は角ぐむ
さては時ぞと 思うあやにく
今日も昨日も 雪の空
今日も昨日も 雪の空

春と聞かねば 知らでありしを
聞けばせかるる 胸の思いを
いかにせよと この頃か
いかにせよと この頃か

5. どこかで春が

作詞：百田宗治 作曲：草川信

どこかで春が 生まれてる
どこかで水が 流れ出す
どこかで雲雀が 啼いている
どこかで芽の出る 音がする
山の三月 そよ風* 吹いて
どこかで春が 生まれてる
* 原詩は「東風」=春風

6. 砂山

作詞：北原白秋 作曲：中山晋平

海は荒海 向こうは佐渡よ
すずめ啼け啼け もう日は暮れた
みんな呼べ呼べ お星さま出たぞ

暮れりゃ砂山 汐鳴ばかり
すずめちりぢり また風荒れる
みんなちりぢり もう誰も見えぬ

かえろかえろよ 茱萸原わけて
すずめさよなら さよならあした
海よさよなら さよならあした

7. 朧月夜

作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

菜の花畠に入り日薄れ
見わたす山の端 霞ふかし
春風そよふく 空を見れば
夕月かかりて におい淡し

里わの火影も 森の色も
田中の小路を たどる人も
蛙のなく音も かねの音も
さながら霞める 朧月夜

8. 花

作詞：武島羽衣 作曲：滝廉太郎

春のうららの 隅田川
のぼりくだりの 船人が
權のしづくも 花と散る
ながめを何に たとふべき

見ずやあけぼの 露浴びて
われにも言ふ 桜木を
見ずや夕ぐれ 手をのべて
われさしまねく 青柳を

錦おりなす 長堤に
くるればのぼる おぼろ月
げに一刻も 千金の
ながめを何に たとふべき

9. 赤い靴

作詞：野口雨情 作曲：本居長世

赤い靴履いてた 女の子
異人さんにつれられて 行っちゃった

横濱の埠頭から 船に乗って
異人さんにつれられて 行っちゃった

今では青い目に なっちゃって
異人さんのお国に いるんだろ

赤い靴見たたび 考える
異人さんに逢うたび 考える

10. シャボン玉

作詞：野口雨情 作曲：中山晋平

シャボン玉飛んだ 屋根まで飛んだ
屋根まで飛んで こわれて消えた
風 風 吹くな シャボン玉飛ばそ

シャボン玉消えた 飛ばずに消えた
産まれてすぐに こわれて消えた
風 風 吹くな シャボン玉飛ばそ

11. 七つの子

作詞：野口雨情 作曲：本居長世

からすなぜ鳴くの 鳥は山に
かわいい七つの子があるからよ
かわいかわいと からすは鳴くの
かわいかわいと 鳴くんだよ
やまの古巣へ 行って見て御覧
丸い眼をした いい子だよ

12. 赤とんぼ

作詞：三木露風 作曲：山田耕筰

夕焼小焼の 赤とんぼ
負われて見たのは いつの日か

山の畑の 桑の実を
小籠に摘んだは まぼろしか

十五で姐やは 嫁に行き
お里のたよりも 絶えはてた

夕焼小焼の 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

13. 夕焼け小焼け

作詞 中村雨紅 作曲 草川 信

夕焼け小焼けで 日が暮れて
山のお寺の 鐘が鳴る
お手々つないで 皆帰ろ
鳥といっしょに 帰りましょう

子供が帰った あとからは
円い大きな お月さま
小鳥が夢を 見る頃は
空にはきらきら 金の星

14. 紅葉

作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

秋の夕日に照る山紅葉
濃いも薄いも数ある中に
松をいろどる楓や葛は
山のふもとの裾模様

溪の流に散り浮くもみじ
波にゆられて 離れて寄って
赤や黄色の色さまざまに
水の上にも織る錦

15. 濱千鳥

作詞：鹿島鳴秋 作曲：弘田龍太郎

青い月夜の 浜辺には
親をさがして 鳴く鳥が
波の国から 生まれでる
濡れた翼の 銀の色

夜鳴く鳥の 悲しさは
親をたづねて 海越えて
月夜の国へ 消えて行く
銀の翼の 濱千鳥

16. 雪

作詞・作曲：不詳

雪やこんこ 霰やこんこ
降っては降っては ずんずん積もる
山も野原も 綿帽子かぶり
枯木残らず 花が咲く

雪やこんこ 霰やこんこ
降っても降っても まだ降りやまぬ
犬は喜び 庭駆けまわり
猫は火燵で丸くなる

17. 故郷

作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

兔追いしかの山
小鮒釣りしかの川
夢は今もめぐりて、
忘れがたき故郷

如何に在ます 父母
恙なしや友がき
雨に風につけても
思い出ずる 故郷

志をはたして
いつの日にか 帰らん
山は青き 故郷
水は清き 故郷

18. 浜辺の歌

作詞：林古溪 作曲：成田為三

あした浜辺をさまよえば
昔のことぞ忍ばるる
風の音よ 雲のさまよ
よする波も かいの色も

ゆうべ浜辺をもとおれば
昔の人ぞ忍ばるる
よする波よ かえす波よ
月の色も 星のかげも

